

## 子育て施策としての「家庭教育講座」実施を考察する

— 子育て支援における保護者ニーズとは —

佐野 真一郎  
池田 信子\*

1. はじめに
2. アンケート実施について
  - 2-1. 実施場所, 並びに実施内容, 実施形態
  - 2-2. 進行(講師)と各定員
3. アンケート実施に係る事項
  - 3-1. アンケート実施期間
  - 3-2. アンケート配布数
  - 3-3. アンケート回答数
4. アンケート質問項目とその結果
5. 考察及び総括
  - 5-1. 講座内受講生の様子からの考察
  - 5-2. アンケートからの考察
  - 5-3. 総括

## 1. はじめに

「家庭教育」の崩壊と言われて久しい。現代において、「育児が辛い」、「育児が嫌い」と発言する母親、また「育児の悩みがない」と子どもに意識が向かず、育児に努力をしなくなってしまった親の二極化が指摘される。育児に悩みながらも誰にも相談できず苦しんでいる母親の抱えるストレスは大きく、イライラが解消できないまま日々過ごしている、といったケースも多々報告されている。

このような家庭への支援は、民間での支援の限界と行政での支援の限界に位置するものである。その位置、すなわち制度の狭間でとりこぼれるケース等が、二次的な問題を生み出すことも明らかになっている。このような「問題」の軽減のために、「家庭教育」という視点で、就園前の子どもを持つ家庭サポート事業の実施と事後アンケートから、子育て支援における保護者ニーズを、本稿では考察し報告する。

## 2. アンケート実施について

下記【1】【2】の「家庭教育」に関する事業について、その受講者アンケートの分析を行った。

【1】「子育て支援」の一環として「家庭教育講座」を実施。事業名は、A県S市こども未来課主催「お母さんのための子育て応援講座」の一連として行われた。<sup>1)</sup>

【2】A県T市生涯学習課主催「幼児ふれあい教室」3会場。<sup>2)</sup>

### 2-1. 実施場所、並びに実施内容、実施形態

実施場所については、下枠内の通りである。

- |   |
|---|
| ①TY地区市民館（T市）、②TD地区市民館（T市）、③TT地区市民館（T市）、<br>④TB地区市民館（T市）、⑤TY地区市民館（T市）、⑥TUこども園（S市）、<br>⑦CHこども園（S市）、⑧児童館TP（S市）、⑨YNこども園（S市） |
|---|

それぞれの実施場所に於いて行った講座名は、

- ①～④が「幼児ふれあい講座」
- ⑤が「家庭教育講座」、
- ⑥～⑨が「お母さんのための子育て応援講座」である。

以下の記号を付したものが、「家庭教育」に関連するテーマ内容になり、各講座の開講回数により（ア）～（オ）の中から内容を選定する。また、括弧内はそれぞれの実施形態を示している。

1) 事業実施期間、2012～2013年度。実施は、筆者の一人である池田信子主宰の特定非営利活動法人「らるご子ども教育研究所」への委託事業として行われた。また、同教育研究所は文部科学省からの「家庭教育支援チーム」としての認証を受けていることも申し添える。

2) アンケート実施期間2013年度。事業については、筆者の一人である池田信子への個人委託となる。

- (ア) 「家庭教育の果たす役割」, 「子どもの発達心理」, 「発達の躓き」 (講義形式)
- (イ) 「子どもの発達心理」 (講義形式)
  - 「子どものことを語ろう」 (演習形式)
- (ウ) 子どもの理解と対応「ほめ方しかり方」 (講義形式)
  - 子どもを好きになる「心の花束」 (演習形式)
- (エ) 子どもの理解と対応「感情のコントロール」 (講義形式)
  - 「感情の掃き出しワーク」 (演習形式)
- (オ) まとめ (講義形式)
  - 子ども時代の気持ちを思い出してみよう
  - 「子どものときの楽しかったこと」 (演習形式)

## 2-2. 進行（講師）と各定員

上記各講座は、筆者の一人である池田信子が講義演習ともに統括して行い、必要な場合に、演習形式に際してファシリテーター<sup>3)</sup>を配した。

そして各回の参加者については、各行政側が受講生の募集を行い定員は以下の通りであった。

- ①～⑤…各回20名
  - (①～④は親子で募集, 「家庭教育講座」は保護者参加, ⑤は保護者のみ)
- ⑥～⑨…各回15名

## 3. アンケート実施に係る事項

### 3-1. アンケート実施期間

①～⑤ 2013年度実施. ⑥～⑨ 2012-2013年度実施.

\*④は、アンケート用紙の不準備のため、家庭教育に関する自由記述のみ行った。

### 3-2. アンケート配布数

全参加者総数160名のうち、最終日に参加した保護者に対しアンケートを実施。その内、④20名は実施数から除外した。結果、欠席者を除き、105名にアンケートを配布。

### 3-3. アンケート回答数

配布105枚、アンケート実施者数105名中、88枚(88名)回収(回収率83.8%)

3) ファシリテーターは武田香(NPO法人らるご子ども教育研究所)、富田佐知子(NPO法人らるご子ども教育研究所家庭教育教育スタッフ)、他2名が必要に応じて参加した。

## 4. アンケート質問項目とその結果

### 1) サンプル属性：母親100%

#### ①母親の年齢（表1）

表1

20代	8
30代	71
40代	9
未回答	0

#### ②子どもの年齢（表2） \*きょうだいを含めた数

表2

0歳	13	5歳	13
1歳	18	6歳	7
2歳	33	7歳以上	4
3歳	22	未回答	2
4歳	10		

### Q1. 家庭教育講座への参加は何回目ですか？（表3）

表3

はじめて	51
2回目	27
3回以上	7
未回答	3

### Q2. 講座への参加動機？（複数回答）（表4）

表4

家庭教育に関心があった	47
内容（テーマ）に興味あり	49
友だちに誘われて	8
子どもについての悩み	31
その他	8

その他と答えた方の回答<sup>4)</sup>

- ・時間がとれたから、外出する機会がほしい.
- ・講師の話が聞きたかった.
- ・前回の講座がすごくよかったので参加したかった.

4) アンケートの自由回答については、明らかな漢字の誤字を除き〔原文のまま〕の表記にしてある。

- ・今は悩むまでいっていないけれど、今後の子育ての参考になればよいと思ったから。
- ・広報を見て。
- ・最近子どもを怒ってばかりいるので、リセットできればよいと思って。
- ・他の子どもとふれあいができると思った。
- ・育児を楽しくしたいと思ったのと、家に居ると子どもとなかなかふれあい遊びができないから。

### Q3. 子育ての充実感 「日々の子育てを楽しんでいると感じられていますか？」(表5)

表5

はい	41
いいえ	46
時々は楽しいがストレスも多い	1

「はい」と答えた方のコメント

- ・でも怒れる時もある。
- ・ストレスもあるが楽しい時の方が多い。
- ・子どもの成長がみられるから。

### Q4. 子育ての困り感 「子育てで困難に感じられることはありますか？ またそれはどんな場面ですか？」(表6)

表6

困難があると感じる	63
あまり困難は感じない	10
未回答	15

「困難がある」と答えた方→どんな場面？

- (1) 2人きりでいる時、自分の思い通りになってくれない時。
- (2) 子どもの体力についていけず、イライラしてしまう。
- (3) 言うことを聞かない時、意味のわからないわがまま？を言う時。
- (4) 食事（嫌いなものを全く食べない）、やってはいけない事をどのように伝えれば良いか。
- (5) 年中の子どものこと。言葉が達者になり、一筋縄ではいけなくなったことが困る。
- (6) 良い子になって欲しいと思うあまり、力が入り過ぎて、度を越してしまう関わりをしてしまう。
- (7) 子どもの成長が他と比べて違う。違いを感じた時、辛さを感じる。
- (8) 長女の育て方が（5才）わからない。わがまま。我慢ができない子どもなので困る。

- (9) 兄弟の相手のバランスがとれない時. 2人にもっと向き合いたいのに, 向き合えずついイラッとしてしまいます. 自分の子育て, つき合い方が正しい将来に導けるのかすごく不安.
- (10) 3人同時にぐずってしまう時. 上の子が突然下の子に手を出してしまう. おもちゃを隠す. 意地悪をする.
- (11) 4才の息子が「イヤ」「ダメ」を連発してくる時. 「ママごめんなさい…」と泣きながら謝ってこられると, 申し訳なく, やるせなく, 恥かしい気持ちになる.
- (12) 子どもに対してちょっとしたことで怒ってしまう. 辛抱がきかない自分がある.
- (13) イライラすると子どものことなどどうでもよくなる.
- (14) 子どもにどうしていけないかを伝える時. 子どものイライラ・怒りをうまく受け止め, 良い方へ促すことができない時. 親がどうして怒っているかを伝える時.
- (15) 思うようにいかないことがある時はどうしたら良いか分からなくなる.
- (16) 下の子とケンカをしたり, 言うことを聞いてくれない時.
- (17) 自分の時間が全くなくなった時. 主人が忙しく, 家事・育児を自分一人でしないといけなくなった時.
- (18) イヤイヤが激しい時に, どう言い聞かせても全く聞かない. 時間がなかったり, 移動しなければならない時に, 強制的にやめさせられたりさせるので, 本人も機嫌は悪いままだし, こちらもイライラする.
- (19) 家事など忙しく, 甘えにに応じてやれない時. 自分にストレスがたまっていて, 子どものちょっとしたイタズラや欲求にうまく対応できない時.
- (20) 子どもが言葉でまだ上手に伝えられない為, お友達などにすぐ手が出てしまう場面.
- (21) 子どもがストレスを感じていると感じた時.
- (22) 子どもがぐずってしまう時. 特に外出する時などイライラしてしまう時がある.
- (23) したいことを大声で泣きながら言うことが多く「○○だから今はダメだよ」と何回も説明しても, なかなか納得してくれない時.
- (24) ぐずる時はいつも怒れる.
- (25) 叱り方や甘やかし方がわからないので困っている.
- (26) 食事の時に座ってられないので腹が立つ.
- (27) 1対1でいて, 子どもが言うことを聞かず, 危ないことばかりする時. とてもイライラしてしまう.
- (28) 両方の実家が遠く, 主人の帰りも遅くて, 平日自分一人の子育てで疲れている時.
- (29) スーパーで走りまわったり, 講座も静かに参加できなかつたり, 他の子どもができてくることをできてなかつたりする時. 私の育て方が間違っているのかなと常に不安.
- (30) 食事の時. 何でも欲しがる物欲があって, どうしたらいいのか迷ってしまう.  
(おもちゃの買い方について)

- (31) 夫婦ともに実家が九州なので頼れる身内が近くにいない。最近引っ越したばかりで会って話せる友達も少ない。
- (32) 子どもがおこっている時、お友達をたたいて泣かせてしまった時など、適切な対応が出来ているのか不安。
- (33) 自分の子供に対してではないが、子どもに対して過保護に接するママさんへの対応。
- (34) 人に対して、手がでてしまうことがあり、心配（私の思い通りにならない時）になる。
- (35) 自分の気持ちに余裕がないときに、子どもがぐずると怒ってしまったり、きつくあたってしまったりする。
- (36) 自分の思いが強すぎてしまう。うまくコントロールしていけるようにしたい。
- (37) つい自分もイライラしてしまって、子どもに冷たく当たってしまう時。それを長時間引っぱってしまう時。
- (38) 2人子ども（小学校1年生と3才の2人）が夏休みでずっと家にいる時。夏休みの宿題や、2人の面倒見たりでとてもつらいと感じた。実家に行って子どもをみてもらい、なんとか今夏はなった。
- (39) お昼寝をしなくて夜ごはんがうまくつくれず、くたくたになる時。
- (40) 周りの意見がそれぞれで、参考にはしたいけど、遠慮があったりすることが、少し気になる。最終的には自分たちで決めているけれども。
- (41) 子どもの気持ちが分からない時。
- (42) すぐに子どもをしかってしまう。子どもが甘えすぎていて困る。

#### Q5. 講座の効果 「講座は役に立ちましたか？」（表7）

表7

1) 大変役に立った	79
2) 役に立った	1
3) 中には役に立つこともあった	0
4) あまり役には立たなかった	0
5) 未回答	8

##### 1) 2) 3) と答えた方の回答

- (1) 子どもに対して感情的な怒り、苛立ちを感じる時、一歩引いて子どもの成長のために、良い対応を考える参考になった。
- (2) 子どもとの向き合い方や、付き合い方が見えてきました。言葉のかけ方にもコツがあるのだなと思った。
- (3) 子どもの心に沿った育児をしていきたいな…と思えたこと。
- (4) 子どもの叱り方、ほめ方。大変参考になった。ペットボトルの話は、目から鱗…な感じだった。

- (5) 「子どもの気持ちを考える」とは言われるけれど、実際どんな事か、など深く理解していなかったんだと気付いた。〔ママ〕子どもらしさを大切に、今日も沢山ギューツと抱きしめていきたいと思った。ありがとうございました。
- (6) 子どもをしっかり抱きしめること。自分の気持ちを改めて見つめてみる良い機会だった。人の意見を聞いて、視野が広がった。
- (7) 子育ての根本的な考え方。
- (8) 子どもが問題行動を起こす背景を、考えられる余裕が持てるようになった。子育てを見つめ直し、子どもの将来のために、今自分ができる事を精一杯やってみようと思えるようになった。
- (9) 私にとっては少し難しいお話もあったが、何よりも愛情をもって接する事の重要さを学んだ。
- (10) 感情のコントロールという内容を自分でもゆっくり考えてみて、子どもの気持ちを客観的に落ち着いて捉えられるようになった気がする。
- (11) 子どもと離れる事で、色々な方と話しが出来たり、悩んでいる事が共通していたりする事で安心したり、話合い（グループワーク）が出来てとても楽しかった。母親が我慢したりする事の大切さ、子どもとの接し方が分かる事ができた。
- (12) 子どもが一番大切な時期に自分との関わりで、子どもの成長に影響を及ぼすことがあるので、今まで自分のイライラを子どもにぶつけていた。そこを反省しつつ、いつもニコニコするママでいようと思った。
- (13) 子どもへの対応を変えることができた!!
- (14) もっと力を抜いて今という時間を楽しめば良いんだなあと思った。先生がいつも朗らかで、先生みたいな心持ちで子どもに接せられたら素敵だなあといつも思った。
- (15) 具体的な声掛けの言葉を教えてもらえて自信になった。
- (16) 子どもへの接し方。今が一番大事。土台をしっかり作っていかねばならないと思う。
- (17) ペットボトルの話聞いてから、まず子どもを心配するように努めるようにしたら、少しずつ子どもの方から「済まなかった」という気持ちが芽生えたのか、謝ってきたり、「〇〇しちゃったね」など、思い出し振り返り、反省する姿が見られるようになった。
- (18) 大丈夫?と声を掛けられる子どもが少なくなったと聞き、それは親の私も最初に大丈夫?と声を掛けてないなあという事に気付いたので、大丈夫?という言葉かけようにした。
- (19) 今まで3回講座を受け、その度に納得させられる。今回は、子どもは宝だと再確認できた。
- (20) 人と話すことで、自分の思いに気付くことができた事がとても良かった。子どもの発達を繰り返し学ぶことで、自分の育児を振り返る事ができたり、自分自身を振り返る事ができた。人の意見も聞く事でまた違った事が分かったり、発見すること

ができて、良かった。

- (21) 子どもがかんしゃくを起こした時に、突き放すのではなく手を握って、落ち着くまで待つようになった
- (22) 子どもと接する時間を考え直してみた。
- (23) 子どもに甘えられたら、抱きしめてあげたり声掛けを今までよりもたくさんできるようにになった。
- (24) 気持ちが穏やかになって、イコール子供に対して穏やかになれた。時々こういういい話を聞かないと元の自分に戻ってしまう。
- (25) 少しだけど、子どもに優しく余裕を持って接することができた。しかしながら、2日でストレスがたまってしまった。
- (26) 子育ては自分も成長していくことだと改めて思い、感謝の気持ちを持ち続けるよう努めたいと思う。
- (27) 怒る時に感情的にならず、一呼吸おけるようになり、考えられるようになった。
- (28) 子どもが、自分でやりたい気持ちが出てきて、どう受けとめればいいのか分からなかったので、気持ちの整理ができた。
- (29) 叱ってばかりではダメだなと思い、感情的に叱ることが減った。
- (30) なるべく情の言葉がけを意識するようになった。
- (31) 子どもにあまり「ありがとう」「ごめんなさい」などを言わせることにこだわらなくなった。
- (32) 子ども、自分・相手の長所探しをしてみようと思った。
- (33) 子どもと接する上で「怒らずに！」と思い、接するようになった。
- (34) (子どもの失敗などで)「ほら、やっぱりね」と思ったことがあった時、それを言わずに違う声掛けができた。
- (35) 情を大事にということをつけるようになったことと、命に関わること以外は小さいことで怒らなくなった。
- (36) 寝る前に「大好きだよ。おやすみ。」と言うようにした。
- (37) 自分の気持ちの整理ができた
- (38) 自分だけでなく、みんな（お母さんたち）同じ思いを抱えていることが分かった。（子どもと）触れ合える時間がつくれるようになった。
- (39) いろんな経験をさせてあげたいと思った。「こんなことができる」とか、「こういうことが好きなんだ」という発見できた。
- (40) 家では見られない子どもの一面が見れて、自分が思っているより子どもは成長していると思った。
- (41) むやみやたらにしかってはいけないうてことが一番胸に響いた。まちがっていること、失敗したことは、注意しなきゃいけないって思い込んでいた。けれど、違うのだと分かって、そこを意識して叱らないようにこの一週間心がけたら昨年からは始めて全然進歩がなかったトイレトレーニングに進歩が見えた！いつも失敗のたびに

- 怒っていたけど、それをやめたらこの一週間殆どパンツを汚すことなくトイレでできた!! こんな所に解決の糸口があったのか! と良い気づきをいただいた。
- (42) 4回目の講座に来る前に、子どもをひどく怒ってから参加した。先生のお話が身につまされる内容で、お話を聞きながら涙が出てきた。息子には「私をお母さんにしてくれてありがとう!」という気持ちで向き合いたいと思った。
- (43) 日々めまぐるしく過ぎていく中で、こうして、短時間でも子どもと離れ、子どものこと、主人のこと、自分のこと、見つめる良い機会になった。
- (44) 子どもが健康に育つ、メンタルで安定する、しないは親の関わり方次第と学んだ。
- (45) もっともっと愛情を伝えていかなければ、と思った。
- (46) 叱ってばかりだったので（それもネチネチと）、もっとあっさり叱らなくてはと思った。そして叱らなくてもいい場面で叱ってるが多かったなと反省した。
- (47) たくさんのお母さんの話を聞くことができ、色々きづくことができた。自分の煮詰まった部分をさらけ出し、アドバイスをいただけ、非常に良かった。「生まれてくれてありがとう」はっとさせられた。
- (48) 今までやってきた自分の育児を振り返ることができた。特に5歳の長男の育児について悩むことがあったけれど、あと戻りできることを学び、安心して再度やり直して（情の基礎工事から）いきたいと思った。これからももっと子どものいいところを見つけて、抱きしめてあげたいと強く感じた。
- (49) 子どもと一緒に楽しく遊ぶことが大事。上手にできたら「上手だね」と遊びながらも褒めてあげることができるようになった。

\* 以下略

## Q6. 子育て講座への参加有無

最近、様々な子育て講座が開催されていますが、他にも子育て講座に参加されたことがありますか? (表8)

表8

ある	36
ない	34
未回答	18

「ある」と答えた方→どんな講座に参加されたことがありますか? (複数回答有) (表9)

表9

行政主催	35
民間主催	5
定期的に参加	1
その他	0

## 「ない」と答えた方→その理由は？（表10）

表10

必要を感じていない	0
必要があっても利用がしにくい	21
その他	8
未回答	5

## その他と答えた方の回答

- ・まだ子どもが小さく、他の講座の存在を知らない.
- ・情報を得る暇がない.
- ・これというものに、出会わなかった.
- ・近くで開催されていれば行きたいが、知らなかった.
- ・これから機会があれば参加したい.
- ・あまり深く考えたことがなく、こういった事（講座）をしていたのなら、もっと行っていればよかったと思った.
- ・応募しても抽選で落ちる事が多い.
- ・今回初めて知った.

**Q7. 家庭教育講座の重要性をあなたの感じられる範囲で構いませんので教えて下さい。**

- (1) 子育てで周りの応援をあまり受けられず、孤立しやすい立場の親御さんが受けられると、本人と子どもにとって気持ちに余裕が生まれて良い子育てができると思う.
- (2) 学校では学べないので、普通教育の中でも学べたら良い.
- (3) 今は情報ばかり溢れていて、頭で考えることの方が先行していて、体を使ったり、人と人が触れあう場面がとても少ない。どんどん内に向けてしまうので、外へ出て人と出会って、自分のトラブルとかを解決していく手助けになってくれると思う.
- (4) 子育てをするにあたって自分が学ぶことが大事.
- (5) 子どもにとって必要なことを学ぶことができるので、子どもに返せるようになれる。改めて子育ての大切さを学ぶことで、自分の毎日の育児を振り返るきっかけになる.
- (6) 悩んだときに専門家のアドバイスを受けられるので助かる。自分を振り返ることができるので、育児にも反映できる.
- (7) 正解・不正解はないけれど、先生の経験をふまえた上でいろんな話を聞いてそれを実践できるので、心をリセットさせるためにも重要.
- (8) 今は、自分で情報を得ようとしないと、何も学ぶことができない。学生の時に少しでも子どもの教育について理解をしていなければ、親として何も成長できないと思った。私自身、学生時に教育、心理について学んだが、いざとなると、上手く活

- かせていないと思う。その立場になって知る事、感じることもあるので、今、学ぶことが大事だと思う。
- (9) 今、出来る事、やらなければいけない事（子どもの基礎作り）、が学べる。
  - (10) 同じように子育てをされている方とお話しが出来るので楽しいし、今必要な知識が多いので、充実した時間になる。親のゆとりにつながると思う。
  - (11) 苦しい事、楽しい事を共有できたことが良かった。
  - (12) 今はネットやテレビで子育てをしてしまう、それが将来子どもの心に大きな影響を与えてしまうことをもっと理解できるようになるといい。子どもが自分自身で、色々考える土台を作ってあげられる母親になりたいと思う。壁にぶつかった時に思い出せるステキな講座だった。
  - (13) 子育てについて、じっくり考える時間を持つことは、気持ちのリセットにすごくいい機会だと思う。知らない人と話す事で、新しい考え方や、自分の良い所を知るいい機会になる。
  - (14) 乳幼児をもった母親は孤立しがちなので、同じような立場の人と一緒に学ぶ場があるのは大切。
  - (15) これから先の日本を支えるのは、今の子ども達。その子ども達によりよく育ててもらうためには、各家庭での子への接し方が何よりも大切だと思う。
  - (16) 育児をしていると、どうしても子どもと向き合っているのは自分だけとってしまっていて、いろんな人の意見・話・経験を聞くことで視野を広げることができる。
  - (17) 外に出て、色々な人の意見や、先生・先輩たちの生の声を聞くことはとても大事。共感する事や、アドバイスなど、勉強になる事も多く、実りの多い時間を過ごせると思うので、とてもいい機会だと思う。
  - (18) 子育てをする母親が相談でき、リフレッシュできる。学び、すぐ実践できる。
  - (19) 他の人と思いをシェアすることができる。自分の子育てを振り返るきっかけとなった。育児について考える専門職でない限り学ぶことができないが、講座を受けることにより育児、子どもの発達段階についてなど、知識を深めることができた。
  - (20) 育児をしているとどうしても独りよがりになってしまうので、講座を受けてニュートラルにしたほうがよい。
  - (21) 核家族が増え、親世代の人からの助言が得られにくくなっているので、家庭教育講座は必要。
  - (22) 自分では気づかない、分からない事、当たり前だけど大事な事を教えてもらえる場所。
  - (23) 勉強もできるし、いい気分転換になる。
  - (24) 核家族家庭が多い中、子育ての知識は情報あふれているが、正しいものを取捨選択し、自己責任でよい関わりが家族でできるような学びが必要。
  - (25) 核家族で住んでいる私にとっては、このように親子で遊び学ぶ場があると助かる。内容も考えさせられるし、友達作りもできる。

- (26) 壁にぶち当たったり、どうすればいいのか分からない状態でいた時に、先生の一言一言が身に沁み自分の気持ちも軽くなった。もう一度違う視点で子育てをしてみようと思う講座であった。
- (27) 同じ母親と交流できるよい場所。煮詰まった日常から抜け出せる。育児書などを読むだけでは分からないことなど、先生のお話でよく頭に入ってきた。何度も受けたい講座。
- (28) 普段の生活では、ゆっくり考えることができない事を教えてもらえ、気持ちを切り替えて子どもに接することができる。
- (29) 一人で子育てしているだけでは分からないこと、やりきれないことを勉強できる。
- (30) 同じくらい年齢の子を持つお母さんたちの話を聞いたりすることも、すごく気持ちが落ち着くし、何より先生のお話がすごく心に響いた。
- (31) 出掛けるところがあると毎日の励みになる。
- (32) いろいろな情報を知ることができる。
- (33) 親になっても、まだまだ勉強できることがたくさんあるので、講座で勉強したい。
- (34) 子どもの成長とともにいろいろな悩みが、次からでてくるのでよい機会になっていいと思う。
- (35) 受講したのは2回目だが、1度目の時から、先生の言葉を思い出しながら過ごすことが多い。子どもの成長に伴い、年齢別の講座があれば、今後もぜひ参加したい。
- (36) この数回の講座でさえ、とてもかんがえさせられたり、反省できたりしたので、もっと色々な所で、こういう講座が開かれるといいと思う。
- (37) 母親になること…子どもを産んだら「お母さん」になるが、誰でも初めての経験で、「わかっている」と思っていることに「かたより」があったり、子どもを愛していることに「かたより」があったりする。同じ想いをしている方もいると思う。話すことで見えてくることがあることを沢山の人が知り、自分もたくさん勉強していきたいと思った。
- (38) 特に初めての子をもつ母親にとっては、何もかもが初めてなので、あらゆる情報や親同士の話し合いがあるということは、今後の生活、子育てにすごく役立っていくこと。
- (39) 難しい話を分かりやすく、また、例に挙げて、話して頂けるので、理解しやすい。この時期の大切さを、もっと早くに知っていたらまた違う育児ができたかなと思うから勉強の機会が必要。
- (40) 自分の行動、子どもの行動を客観的にみれること。親しい友達だけでなく、色々な子どもやママさんと触れあえること。様々な対処方法など耳にすることができる点。
- (41) こういう場に来ないと得られない情報がたくさんあるので、今回は参加出来て本当に良かった。子どもを持つ親には全員に教えてあげたい。
- (42) 専任の講師からの講座が聞け、いつもは感情的になってしまっている事も冷静に

考える事ができる.

- (43) 子どもに対して母は絶対的な存在なので、人に優しくできるのも親の育て方次第. とにかく3才まではいい関係を築けるように、毎日接していきたいと思えた.
- (44) 友達と話したり、グチを言い合うだけでは、その場のストレス発散にしかならない. このような形で初めて会う方々と話をする事で、今後の自分の行動が変わるような気がする. 子育てに前向きになれる. 今を大事にするための大事な時間になった.

#### Q 8. 今後講座で聞いてみたいテーマがありましたらご記入下さい. (自由記述)

- (1) TVやインターネット, ゲームなどの子どもへの与え方, 付き合い方.
- (2) 幼稚園に上がる前位の子どもの遊び方.
- (3) きょうだいの育て方が知りたい.
- (4) 子どもの心についての話.
- (5) 子育ての相談や, 話し合いをする場.
- (6) 児童期の育児について.
- (7) 就学後の子どもたちについて. 娘が今春小学生になるので.
- (8) 子どもの見逃してはいけない様子, サイン.
- (9) 母親が怒っている姿を子どもにどう見せるか. (いつもイライラしている私を見て子どもがどう感じるかとても心配なので)
- (10) 子育て全般
- (11) 子どもに対する子どもと接する時の, 良い言葉の選び方など.
- (12) 「育てなおい」という言葉を以前聞いた事があるのですが, 子どもが不安に思う事があった時, どう出てくるのか, 又それに対してどう対応していくのか, など聞いてみたかったです.
- (13) 子どもの気持ちにどう対応するか? スキンシップの重要性. 父親, 母親の存在.
- (14) 発達障害について
- (15) 家族で参加する講座
- (16) 子ども同士のトラブル対応について

## 5. 考察及び総括

### 5-1. 講座内受講生の様子からの考察

子育てに関して, 積極的に学びたいという態度や意欲を強く感じるものであった. 以前にも受講し, 再度学びたいと申し込んだ方々も数名いた. 講座内の意見や質問は具体的なものが多かった. 日々の些細な疑問や困りごとを, 相談するような, 子育てについて頼る人が身近にいないという背景が推測される.

変化した点は, 回を重ねるうちに, 講義と無関係に質問するのではなく, 講師が伝えたことを, 受け取った内容を, 本人が自分自身に照らし合わせて考える姿勢が見受けられるよう

になったことである。必要に応じてファシリテーターを入れたグループシェアリングでは、互いに意見を出し合い学びあう「ブレインストーミング<sup>5)</sup>」を取り入れたことにより、講師がこたえを出すのではなく、子育ての主体としての母親自身が自分たちで意見やアイデアを出し合う、能動的な姿勢が見受けられた。母親自身が自らの子育てに関して、見つめ直しを行う契機を与えたと考えられる。<sup>6)</sup>このような形で「家庭教育」を開講し、それを受講することによって、知識として理解することだけではなく、保護者自身が自分の子どもとの関わりや子どもの内面の育ちについて学んだことを実践し体感することが「養育力の向上」につながるようになることを期待している。

各講義では、子どもの育ち、特に乳幼児期の関わり的重要性について、事例を交えながら、発達過程を丁寧に話して講座を進めた。発達には、①順序性があること、②性急に親の要求を強いることはしてはいけないこと、また③個人差を認めていくこと、などをキーになる言葉を入れて話をした。様々な角度から、少しずつ理解していくことができるという過程を通して、継続した連続講座は、非常に効果があることを客観的に見て感じる。このような働きかけは、児童期思春期に起こる二次的な問題の予防になることが先行研究で明らかになっているように、本講座も5回の開催中に母親自身が内なる変化に気づき、子どもに対する態度の変化が見られたことは、効果的であったことの裏付けであると考えられる。

グループシェアリングでは、他の参加者の意見や考えから刺激を受けることも多いブレインストーミングを用いている。「Q8. アンケートからの考察（自由記述）」に参加者が発言しているように、子育ての辛さが自分だけではないとわかるのは、共感、共有意識の体感により、抱えている子育ての負担感や負荷が下がる効果がある。しかし、子どもの発達過程、子育ての意義、感情のコントロールなどの知識や経験の不足があり、母親同士では高められるものには限界があることも事実である。

講座とワークの組み合わせは、専門性を学び理解するインプットと、負担感の軽減になるアウトプットの役割を果たし、子どもを育てる力の向上には重要な働きかけになっている、と捉えることができる。

そして、もう一つ重要なことは、子育ての主体である母親たちが自分たちの問題と捉え直し、仲間とともに専門的知識の修得（習得）を行う端緒の役割を担うのが、「家庭教育講座」には必要不可欠な要素である。

## 5-2. アンケートからの考察

講座参加動機に目を転じると、「子育てに役立てたい」、「子どもについて悩みがある」とした受講者が多かった。実際に、毎日の子どもの行動の理解や自分の感情のコントロールなど、些細なことで悩みながら子育てしていることが、この事実から明白である。それは、日々の子育てが楽しいかとの問いに、「時々は楽しいがストレスも多い」群が多くなっている

5) 集団でアイデアを出し合うことによって相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法のこと。

6) 講座の展開には、インプットのみにならないように留意している。話を聞き理解するというインプット式講座では、感情の吐き出しができず、気持ちがあがりにくい。積極的にアウトプットできる機会をとり、また、保護者自身が取り組めるような実践を示していくことで、子どもとの良好な関わりを体感していけることを目指した講座展開に努めている。

ることにも関連していると思われる。

アンケートは、受講後独自調査として、保護者に趣旨説明をし同意を得て行っているが、併せて講座自体を遂行していくのに非常に役に立っている。すなわち、子育てをしている主体としての母親の困り感や不安感に適切に対応するには、細かい分析が必要になるからである。

アンケート分析であるが、子育てに困難を感じている母親の意見の自由記述を分析すると、大きく3点の問題点がある。「Q4. 子育ての困難(略)」からわかることは、1) 子どもの理解(子ども自体が理解できない、子どもの発達の理解の)不足、2) 「子育て」の理解不足(子育ての意味の理解不足)、3) 母親自身の感情のコントロールの不足(子どもが思い通りにならないという母親の感情のコントロールの問題)、の3点が大きな課題と考えられる。同アンケートをS市の家庭教育講座で行った際は、社会資源の情報不足があげられたが、T市の調査についてはあがってこなかった。T市は、子育て支援の環境としてハード面は整備されてきているのだと理解することができる。ただ、それが母親の子育て力の向上に直結しているかは全く別の問題である。様々な角度からもみて、総合的に保護者の育児に対する力量の向上ができる環境を整備していくことが、今後望まれる。

#### ■問4の分析：子育てが困難と思われる場面の背景(表11)

表11

要 因	該当する問4での回答番号(複数回答)
1) 子どもの理解(子ども自体が理解できない、子どもの発達の理解の)不足	(2) (3) (5) (8) (20) (24) (25) (40) (41)
2) 「子育て」の理解不足(子育ての意味の理解不足、子どもとのかかわり方の知識不足)	(4) (10) (11) (16) (21) (23) (30) (42)
3) 母親自身の感情のコントロールの不足(子どもが思い通りにならないという母親の感情のコントロールの問題)	(1) (6) (7) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (18) (19) (22) (27) (29) (34) (35) (36) (37) (42)

#### ■問5の分析：講座を聞いての効果・変化(改善点) 表11との比較で評価(表12)

表12

要 因	該当する問5での回答番号(複数回答)
1) 子どもの理解(子ども自体が理解できない、子どもの発達の理解の)不足の解消	(1) (2) (4) (5) (10) (11) (12) (13) (15) (16) (21) (30)

2) 「子育て」の理解不足（子育ての意味の理解不足，子どもとのかかわり方の知識不足）の解消	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (14) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (28) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (40) (41) (42) (44) (46) (48) (49)
3) 母親自身の感情のコントロールの不足（子どもが思い通りにならないという母親の感情のコントロールの問題）の解消	(1) (2) (8) (10) (11) (12) (17) (20) (21) (23) (24) (25) (27) (29) (33) (34) (41) (42) (46) (49)

表11と表12の比較をすると，同一人物からの変化ではないので，縦断的な見地からは述べられないが，数回の講座内で，受講者自身の中に変化があったと答えた者が多数いた。これは，家庭教育を受講した効果，評価と見なすことができる。

講座に参加し，子どもと少し距離をおくことで冷静に自分の子育てを振り返ることができ，また，子どもの育ちの基本を勉強することにより，確かな知識を得たことによる変化である。子どもへの愛情の再確認，自身の感情のコントロールへの変化が見られたことは，子育ての困難さを5回の講座で，充分とはいえないまでも，ある程度軽減でき成果と捉えてよいと，私たちは考える。

### 5-3. 総括

受講の様子，受講者アンケートからもわかるように家庭教育講座，子育て講座に参加する保護者は，子育てに向き合い，また子育てに真剣に取り組もうと努力をしている。このような保育ニーズに適切に応え，受講効果が目に見えるようにして行くことが，重要である。そして，受講による付随効果として，受講者の精神的成長を促すことができたことは，望外の評価としてあげておきたい。

受講後，自己のことではなく，自分の周りにいる子育てに悩む母親の心配をしたり，講座で学んだことをまわりの人に話をして喜ばれるという体験をしたことを半数近くの受講者からの発言で確認することができた。最初は自分の苦悩でしかなかったが，自分自身の問題や課題が解決すると，他者を心配したり，自分の学んだことを他に活かしたいという気持ちが芽生えてくるのであろう。それこそが，家庭教育講座を受けた効果であり，無意図的教育効果と考えられるものである。

受講できる人数は限られているが，提供する側が最終目標を，地域に教育効果を還元できる人材の育成との認識を持つことで，地域のサポーター作りになるような波及効果がある。受講が地域に還元され，循環していく可能性がある。そのために，私たちは常に多様化する保育ニーズを汲み取り，本質的な支援を提供することが喫緊の課題である。子どもを育てる主体としての母親の子育て力の向上が，二次的な問題発生予防となり，また，限られた税金を有効活用することにもつながる。限られた地域の取り組みではあるが，子育て支援とし

での「家庭教育講座」開催が、「保育の向上」，「養護の向上」，併せて「養育力の向上」に効果があることを実践報告し，今後の家庭教育推進の一助になることを期待する。